

建築設備診断技術者ビルディングドクター（建築設備）

（登録者数：約3,700名）

生活パターンの多様化にあわせた環境のコントロール、地球環境を念頭においた省エネルギー運転等が進み、建築設備は、年々その重要性を増大させていますが、電気、空調、給排水衛生、防災など範囲が広く、システム自体も複雑であり、さらに毎日稼働しているという特徴もあります。したがって、日常のメンテナンスや定期的な検査、診断が不可欠です。

一方で、設備は技術的な進歩も早く、また、要求される性能や機能も年々高度なものとなってきており、建築設備の改修とその前段としての診断の必要性も増大しています。

建築設備の維持保全については、建築基準法そのほかの法律に安全、衛生の確保といった観点から各種の規定がありますが、これ以外にも経済性や機能性なども考慮した診断を適切に行うことが重要で、診断に関する優秀な技術をもった資格者が求められていました。

建築設備診断技術者は、このような要請に応えるため、BELCAが財団法人 日本建築設備・昇降機センターと共同で平成7年度に創設した資格制度です。

建築設備はメンテナンスや機器の更新の頻度が高いので、適切な維持管理を行うことが経済的損失を少なくすることにもつながります。

さらに、環境配慮や省エネルギーへの対応などにおいても診断のニーズが高まっており、的確な診断が行える建築設備診断技術者の存在はますます重要になっています。

【建築設備診断技術者の資格とは】

物理的な劣化診断や機能診断、省エネルギー診断、安全・耐震診断等、多方面から建築設備の診断を行い、維持保全に適切な提言が出来る知識・能力を認定する資格が建築設備診断技術者である。リフォームを必要とする建築物が増加の一途をたどるなか、その計画や施工方法に頭を悩ませるオーナーを手助けする技術者として、今後さらに活躍の場が広がると予想される注目の資格である。

【建築設備診断技術者の資格を取得する過程】

- ・受験資格は、技術士、1級施工管理技士、1級建築士、電気主任技術者等の有資格者。

大学等の指定学科を卒業し、7年以上の実務経験を有する者等。

【建築設備診断技術者の試験日程】

- ・毎年7月頃

【建築設備診断技術者の収入・年収】

- ・業務範囲の拡大も。

【建築設備診断技術者の資格に向いているタイプ】

- ・建設・不動産業界で働く人。業務を広げたい人。

受講案内及び申込書は、[こちらからダウンロード](#)できます。

[PDFファイル](#)